

東京 2021 オリンピックに参加の競技者の方々へ

「2021 東京オリンピックの参加選手を対象とした疲労骨折・筋損傷/肉離れ発症の疫学的・画像的調査」

へのご協力をお願い

○調査の目的

・全競技における疲労骨折と筋損傷の疫学的、画像的調査とリスク因子の解明を行うこと

○調査の意義について

疲労骨折は練習や競技の中止を余儀なくされる日常的に遭遇するスポーツ外傷である。過去の報告では復帰までには平均して 3-5 カ月間もの時間を要すると言われている。ロンドン 2012 オリンピック、リオデジャネイロ 2016 オリンピックでは全体で 49 症例、25 症例がそれぞれ疲労骨折と診断されている。また、リオデジャネイロ 2016 オリンピックでは全体で 81 症例が筋損傷と診断されている。オリンピック競技における疲労骨折と筋損傷のリスク因子やそれらがプレーに与える影響については明確な調査がされていないのが現状である。オリンピックにおいて疲労骨折と筋損傷のリスク因子を同定することによってその発生予防に繋がると考えている。これらはオリンピックレベルの競技者だけではなく、将来のオリンピックに出場することを熱望している若いアスリートや一般のスポーツ愛好家にとっても有益な調査である。

○調査の対象

オリンピック選手村診療所にて疲労骨折、筋損傷と診断ないしこれらの疾患が疑われたすべての競技者

○調査の方法

オリンピック終了後に選手村診療所における既存の診療情報を後ろ向きに解析します。具体的には、競技者の背景情報（性別、年齢、職業、身長・体重、診断名、罹患期間、罹患側、併存症、家族歴、活動度、競技種目、スポーツのレベル等）、症状（膝関節痛、膝関節可動域、歩行能力、スポーツ復帰状態、スポーツパフォーマンス等）、血液検査所見、身体所見、画像所見（レントゲン、MRI、エコー）、診断名を使用致します。疲労骨折、筋損傷の診断があった症例に関しては背景情報からそのリスク因子を解析します。

共同研究機関への情報提供に際しては上記匿名化された情報をクラウドシステムを用いて共有いたします。

解析にあたっては各競技者のお名前を匿名化します。この研究に参加することで新たに何かをしていただくことはありません。なお本研究は問題となるような利益相反がないことが、本学の利益相反委員会において承認されています。

○研究の概要について

タイトル： 「2021 東京オリンピックの参加選手を対象とした疲労骨折・筋損傷/肉離れ発症の疫学的・画像的調査」

承認番号： 第 M2021-053 番

研究期間： 医学部倫理審査委員会承認後から 2026 年 3 月 31 日

研究責任者：東京医科歯科大学 医学部附属病院 放射線診断科 助教 足立拓也

共同研究者：齋田幸久¹、立石宇貴秀¹、片桐洋樹³、古賀英之³、柳下和慶²、大西賢太郎⁴、Lars Engebretsen^{5,7}、Bruce Forster^{6,7}

1) 東京医科歯科大学 医学部附属病院 放射線診断科

2) 東京医科歯科大学 スポーツ診療センター

3) 東京医科歯科大学 医学部附属病院 整形外科（運動器外科）

4) ピッツバーグ大学 整形外科

5) オスロー大学 整形外科

6) ブリティッシュ コロンビア大学 放射線科

7) 国際オリンピック委員会 科学・医療 部門

○本調査へのご協力にあたって

診療録のみを用いた研究であるため、文面による同意取得は実施しておりませんが、ご自分の診療録や検査結果がこの研究で用いられることを希望されない患者さんは、ご遠慮なく医師またはスタッフにお申し出下さい。今回のお願いに対して拒否をするかどうかはあなたの自由であり、あなたの意思に基づいて決めてください。拒否をなさっても、今後の診療に何ら不利益になるようなことはありません。

○研究協力の任意性と研究参加の拒否の自由について

この研究に参加するかどうかはあなたの自由です。研究への協力を希望されない方はお申し出ください。協力されなくとも不利益を受けることはありません。研究についてわからないことや聞きたいこと、心配事がありましたら、いつでも遠慮なくおっしゃってください。また、希望すればいつでも研究参加を拒否することができます。研究参加を拒否されても不利な扱いを受けることはありません。研究参加の拒否時はあなたのデータは破棄します。

以上の点につきましてご不明な点がございましたら、医師またはスタッフまでお問い合わせください。よろしくお願いいたします。

東京医科歯科大学医学部附属病院 放射線診断科

足立拓也

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5311（ダイヤルイン）（平日 9：00～17：00）